

令和7年度
近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

(有機農業・環境保全型農業部門)

30年を超える循環型農業から生まれる命の循環～但馬鴨と米がつなぐ地域の未来～

のうじくみあいほうじん

あいがものたにぐち

農事組合法人 アイガモの谷口

主な取組

兵庫県新温泉町

平成4年からアイガモ農法により無農薬栽培の米に取り組み、親子三代で循環型農業を実践。現在、無農薬栽培による米10ha及び大豆0.9ha、飼料用米12haを作付。除草・害虫抑制を担うアイガモ農法の「黒但馬鴨」、食肉用に専用飼育舎で育てる「但馬鴨」合わせて1万羽を飼養。耕作放棄地を活用した飼料用米の生産、鴨の堆肥での土づくり、無農薬の米の生産と鴨肉加工を組み合わせた2つの循環（田んぼの循環・命の循環）を確立。

餅や冷凍おむすび等の米加工品、但馬鴨の自社加工品を直売所・道の駅・百貨店カタログ・ふるさと納税など多様な販路で展開し、付加価値の高い農業経営を実現し、雇用を創出し地域活性化に貢献。

平成9年に開始したふるさと会員制度は、1口で米50kgと但馬鴨2羽のオーナーとなれる仕組みで、現在200口の会員が農作業体験を通じて取組を理解し支援している。アイガモ農法で活躍した「黒但馬鴨」は会員限定販売。消費者交流会や小学生の農作業体験、生き物調査を通じ、地域や循環型農法への理解促進を図っている。



農林水産省
近畿農政局